

2026 アメリカ・オレゴン州ユージーン 教師アシスタントインターンシップ プログラム

ユージーンには、英語を第一言語とする生徒に、日本語で日本語を教える『イマージョン教育』に力を入れている小学校があります。インターン生は教師アシスタントとして教室に入り、授業やイベントのサポートを行い、生徒の成長を支えます。



ユージーン・アメリカ教師インターンシップ概要

ユージーンには、英語を第一言語とする生徒に、日本語で日本語を教える『イマージョン教育』に力を入れている友人学園という小学校があります。インターン生は教師アシスタントとして教室に入り、授業やイベントのサポートを行い、生徒の成長を支えます。

イマージョン教育とは：第二言語習得のために、第一言語を介さず、習得したい言語を使用して学習を行う教育メソッド

期間	開始：8月/ 終了:翌年5月末 ※10カ月間
給与	無給インターン
待遇	ホームステイ（3食付き）・定期的な英語レッスン・学校送迎
ビザ	J1ビザ

こんな人におすすめ！

- ・ 日本の言葉や文化を海外で発信したい方
- ・ 将来、教員や日本語教師を目指している方
- ・ 現在教育分野で働いていて、海外の教育にも興味がある方
- ・ 英語力を伸ばしたい方
- ・ アメリカに安く長期間滞在したい方
- ・ ローカルな生活を通じた異文化体験がしたい方

このプログラムを通してできること

- ・ 長期の実務経験を通して、教員として経験値を上げる
- ・ 海外の言語教育メソッドを学ぶ
- ・ 異文化理解力や英語力の向上
- ・ 課題を乗り越え成長を実感できる経験



参加条件

年齢が出発時点で20歳以上35歳以下

CEFRでB1以上の英語スコア証明を提出できる

英語テスト別指標：TOEIC L&R 550以上（各275点以上）、英検2級以上（英検総合スコア1980点以上）、IELTS4.0以上、TOEFL IBT42以上、TOEIC S&W240点以上（各120点以上）

学生あるいは新卒の方	短大卒以上で教育関連の学歴がある社会人の方	高卒・専門卒あるいは、教育関連の学歴がない社会人の方
大学一年次を修了している	フルタイムまたはパートタイムでの指導・教授経験が1年以上必要	フルタイムまたはパートタイムでの指導・教授経験が5年以上必要
※一部専攻によってはビザの申請条件を満たせない可能性があるため、事前に無料査定を実施しております	※教育関連の学歴とは：大学、短大、大学院での専攻が教育関連（教育学部・教職課程選択）だった、または教育に関わる科目を3科目以上履修していた方	

友人学園の特徴

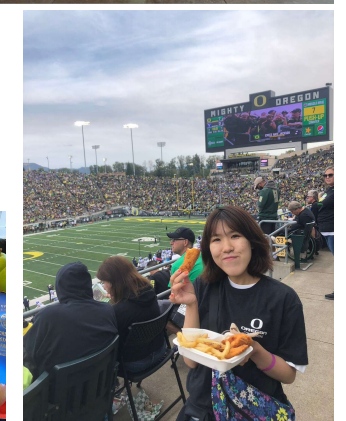
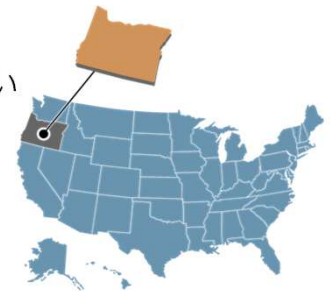
- ・ 全米で初めて日本語イマージョン教育を導入した歴史ある公立学校
- ・ インターン生は毎年1名のみ募集のため、**学校職員と親密な関係**を築ける
- ・ **歴史ある学校**だからこそ**先生の質が高い**。**経験豊富な教師がメンター**につくため学べることが多い
- ・ **教育熱心な保護者**が多く、保護者からも頼りにされる
- ・ インターン生は小学校2年～5年生を一日の中で担当するため、**学年ごとの学習内容の違いや生徒へのアプローチ方法、担任講師によって異なる教授法**が学べる
- ・ アメリカならではの**学校行事と日本の行事**が両方楽しめる！
- ・ 全校生徒数は300名程度の中規模校
- ・ 一名で学校や生徒のイマージョン教育をサポートするため、**責任感があり、大きなやりがいと成長**を感じられる



友人学園 Yujin Gakuen Public Japanese Immersion School	
担当学年	小学校2年生から5年生までのクラス
日本語使用率	50%
英語使用率	50%
教授法	一日のうち、半分为日本語only・半分为英語onlyの授業で構成

ユージーンの特徴

- ・ オレゴン大学などが立地し、**教育環境に恵まれた学園都市**
- ・ **自然が豊かでのんびり**した雰囲気の街
- ・ 年間平均気温が華氏53度（摂氏11.7度）と比較的温暖で、夏の時期以外は雨が多い
- ・ 映画『スタンド・バイ・ミー』のロケ地
- ・ 日本文化に寛容
- ・ 人があたたかい
- ・ ユージーン市の別名は「ヒッピー・タウン」。ヒッピーが多いユニークな街



インターン生の活動内容

インターン業務スケジュール例

8:20 AM	4年生担当 (始まりの会担当)
9:15 AM	2年生担当
10:10-10:20AM	休憩
10:20 AM	4年生担当
10:40 AM	3年生担当
11:10 AM	ランチ
11:50 AM	4年生担当
12:40 PM	3年生担当
1:20 PM	2年生担当
2:10-2:20PM	休憩
2:20 PM	5年生
3:00-4:00PM	放課後の作業



業務内容

作成業務

- ・教材の作成

生徒サポート業務

- ・レベル別学習の小グループ指導
- ・授業観察
- ・生徒の学習支援
- ・生徒への注意やしつけ
- ・質問や相談への応答
- ・授業進行のサポート

採点業務

- ・テストや宿題の採点

イベント運営サポート

- ・学校行事の運営アシスト業務

教壇に立つ機会

- ・イベント、行事の際の授業
- ・朝の読み聞かせ

学校行事の例

アメリカならではの学校行事と日本の行事が両方楽しめる！

例えば、、、

- ・パジャマデー
- ・クレイジーヘアデー
- ・お正月
- ・Back to school event:浴衣を着て、新聞紙で子どもたちにカブトを折る
- ・Field trip:4年生は近くの公園へ、5年生はファームのお手伝い
- ・秋祭り:Baked saleや日本の文化を体験する(だるま落としや折り紙など)コーナーがある
- ・American Football Beer booth

インターン生の役割 = "生徒と先生の掛け橋"

先生から学べること

- ・教師の情熱や指導の意図を感じ取ることができる
- ・教授法やクラスマネージメントスキルを学ぶことができる

生徒から学べること

- ・生徒と密接に関わることできる
- ・低学年の子供たちは、必ずしも勉強へのモチベーションが高いわけではなく、なぜ日本語を学ぶ必要があるのか疑問に感じながらも学校に通ってくる子供たちも。試行錯誤しながら子供たちへのモチベーションをあげられるように親密な関係を築きます



インターン生は、生徒ではありませんが、担任講師とも異なる立ち位置でクラス運営に関わっていくこととなります。双方の中間地点に立って、教育現場を観察することができるため、双方に近い存在として、生徒の気持ちにも教師の気持ちにも寄り添ったサポートが可能です。その経験は将来教育者を目指す人にとってかけがえないものとなるでしょう。

学校の先生からのメッセージ

友人学園より、
スエマツ先生からインターン参加希望者へのメッセージです！

友人学園は**1988年**に設立された日本語イマージョン小学校です。アメリカ人と日本人のスタッフが一緒に教育に携わっています。

日本語の教室では『おはようございます』と元気に挨拶をすることから1日が始まります。おやつや昼ごはんの時間には『いただきます』、休み時間には『ありがとう・ごめんなさい』『痛い 痛い』など可愛い日本語が聞こえてきます。

勉強の時間には**生徒たちが日本語を使う環境を作る**ように努力しています。PTOと一緒に『秋祭り』を開催したり、各学年の終わりには**劇**をしたり、**楽しい行事**もたくさんあります。

友人学園ではこのような生徒たちの日本語教育をサポートしてくれる子供が大好きなインターンを募集しています。

Setsumi Jemei Suematsu
4th Grade Japanese Teacher
Yujin Gakuen Japanese Immersion School



元インターン生からのメッセージ

“アットホームで一体感のある環境”

ユージーンでのインターン最大の魅力は**“アットホームさ”**です。先生方やホストファミリーには、**学校の一員、家族の一員**として温かく迎えていただいています。**小さな街だからこそ生み出されるアットホームさ**に、恵まれた環境でインターンをさせてもらっているなあ感謝する毎日です。インターン業務としては、**授業に遅れをとっている生徒のサポート**したり、**小グループの指導**を担当したりしています。時には**日本語や算数の授業**をする機会もあります。年度初めから**日々成長していく子どもたちの姿**を見ることがやりがいです。様々な学年をサポートすることで、**発達段階の違いを比較**したり、**様々な先生のスキルを学ぶ**ことができます。教え方や学校の運営の仕方も日本の学校とは違い、毎日が新しい発見です。**教師経験が積みながら、ホームステイで英語や異文化体験にふれる**こともでき、本当に充実した毎日を過ごしています。



現役インターン生からのメッセージ

“止まらないカルチャーショック！来てよかった！”

アメリカに来て3ヶ月が経った今でも、**毎日アメリカの文化に驚いています**。既にアメリカに来てよかったなと思っています。**先生方が本当に親切**で、イマージョン教育については勿論のこと、子どもへの指導方法や時には世間話など**どんな話でも気さくに話せる**ためインターンの業務も楽しくできています。今後（冬休み明け）は、自分が考えたアクティビティをやってみたいと思っています。また、プライベートでもユージーンに留まらず他の州に旅行するなど、**アメリカを楽しみたい**と思います。



インターンシッププログラム参加の流れ

出発の…

12カ月前

無料査定、カウンセリング実施

学歴・職歴などから、参加条件を満たしているかをチェックします。必要に応じ、英語スコア証明書、英文成績書、履歴書、職務経歴書の提出をお願いしております。また派遣先の空き状況の確認を致します。

11カ月前

事前選考書類の提出、事前選考費用5,500円のお支払い（※請求書発行から3日以内入金）、事前選考の実施

事前選考書類：事前選考申込書・顔写真付き日本語エッセイ（自己紹介とプログラムへの参加理由について・A4サイズ1~2枚程度）・事前課題フォーム・事前面接（英語&日本語）

10カ月前

お申込み ※プログラム費用のお支払い

事前選考を経て合格となりましたら、お申込みいただきます。

※お申込後の研修参加者の個人的都合によるキャンセル・返金には、一切応じられません。

8カ月前

DS2019必要書類提出 ※ DS2019申請費のお支払い

J-1ビザの申請にDS2019が必要です。アメリカ国務省から認定を受けたビザスポンサー団体より発行されるDS2019の申請を行います。

5カ月前

DS2019申請・取得

提出書類を元に、研修プラン等DS2019申請作成をNPO団体と進めていきます。書類完成後申請書類へご署名いただき、当社へご返送いただきます。

3カ月前

J-1ビザ申請開始、大使館面接

DS2019が発行されましたら、アメリカ大使館面接の予約をします。日本国内の米国大使館に出頭し、面接を受けます。事前に大使館面接のためのオリエンテーションを行い、準備万端で面接を受けていただきます。

3カ月前

J-1ビザ取得・航空券手配

大使館面接から1週間程度でビザが貼付されたパスポートが返却されます。航空券や海外旅行保険を手配して、研修開始日に間に合うよう渡航に備えましょう。

1カ月前

渡航前オリエンテーション実施

必要な持ち物、参加にあたって必要な心構え、渡航後のスケジュール、入国審査時に気を付けるべき点等お伝え致します。

インターン開始
8月

インターン開始

現地運営スタッフによるオリエンテーションを受けて、スムーズに生活を開始していただけます。その後インターンシップ開始となります。

インターンシッププログラム料金

事前選考費用(税込み)

5,500円

プログラム料金(税込み)

325,000円

プログラム料金に含まれているもの

- ・DS2019申請書類作成や申請手続きサポート
- ・米国大使館J1ビザ申請手続き、申請書類作成サポート
- ・米国大使館J1ビザ申請面接対策と準備、事前練習
- ・J1ビザ期間中の緊急時対応、サポート
- ・米国大使館ビザ申請費用、面接後のパスポート配達費用
- ・フライト予約、海外旅行保険加入など渡航手配サポート

プログラム料金に含まれないもの

- ・ビザスポンサー団体のDS2019申請費用（10カ月間：
\$ 2,100）、航空券代金、海外旅行保険代金

料金概算表

\$=140円の場合

渡航前経費	10カ月間
プログラム費用+事前選考費用	330,500円
ビザスポンサー申請費用	294,000円
片道航空券代（※目安）	150,000円
海外旅行保険費用（※任意）	181,940円
合計	956,440円

★ホームステイ(3食付き)、学校送迎、定期的な英語レッスン**無償提供**プログラム！

※その他かかる費用：嗜好品代・現地での旅行費用等



ホストファミリー
との様子



授業の様子



株式会社キャリアエキスチェンジ

〒100-6611 東京都千代田区丸の内1-9-2

グラントウキョウサウスタワー11階

URL: www.career-ex.com E-mail: info@career-ex.com



インターン生活動レポート：Sさん

自身の業務内容、学校での役割について教えてください

渡航4か月後レポート：

- ・ 授業のサポート
- ・ 遅れている子どもを取り出して別室等で個別にサポート
- ・ テストや宿題の採点や、プリントのコピー

ご自身が成長したと思う点や活動を通して感じる変化について

渡航4か月後レポート：

渡米して間もない時は英語に対して受け身の姿勢だったが、だんだんと自分から進んで会話を持っていけるようになった。積極性が生まれた。担当の先生から「指示されたこと」だけでなく、更にそれにプラスαができるように行動していきたい。

渡航8か月後レポート：

何事に対しても「積極性」が生まれるようになった。渡米当初は、お客さん意識がどうしても抜けずに控えめになっていたが、どんどん自分から英語の先生に話しかけたり、新しいホストファミリーにも初日からたくさん自分の話をした。学校内では、教室全体で子供に対しての声かけが上手になった、と担当の先生が褒めてくださった。担当の先生の真似をするだけでなく、今まで以上に「自分だったらどのように声かけ（アプローチ）をするか」を考えて、実践していきたい。

担当の先生がやっていた中で、印象に残っている授業やアクティビティについて教えてください

渡航8か月後レポート：

5年生の日本語の授業で、1グループに1つぬいぐるみを持たせて、そのぬいぐるみについてのプロフィールをMake upしていく授業をしていた。1人1つずつ発言するのをローテーションしていく。

小グループでやったため普段あまり発言しない子ども積極的に話している姿が印象的だった。



渡航8か月後レポート：

4年生の教室では毎日行う「始まりの会」を担当の先生の代わりに仕切った。4・5年生ではステーション活動の1つのグループを受け持ちたりしている。宿題の採点やコピーなどの事務作業もしている。

英語使用頻度や英語力の成長について

渡航4か月後レポート：

渡航前：TOEIC600点

学校での言語使用率は、日本語8割:英語2割。学校内で英語を使うのは、英語のクラスに入る時や、英語の先生とのコミュニケーションの際。朝や放課後、夜はホストファミリーと過ごしているため英語を使う。1日をトータルとして考えると、平日は日本語を話している時間の方が長い。休日は1日中英語。体感的に、聞いている言語は平日、休日とも英語の方が多と感じる。

渡航8か月後レポート：

子どもの英語が聞き取れるようになった。英語の先生からの指示が1発で聞き取れることが増えた。また、1番最初のホストファザーと久しぶりに話をしたら、「英語上手になったね」と言われた。

自身が実施した授業について教えてください

渡航8か月後レポート：

ひな祭りのアクティビティの1つとして4年生に折り紙で雛人形を作る活動をした。その際に1回1回「手は・・・?」「後ろで組みます」「目は・・・?」「前を見ます」などただ折り紙をするだけでなく日本語を話させるようにした。そうしたことで子供達の中でもメリハリが付き、必要以上に騒ぐこともなく、折り方がわからず戸惑う子もいなかった。



インターン生
インタビュー動画
チェック▷▷▷



よくあるご質問

英語力に関する質問

Q.英語力に自信がありませんが、申し込みはできますか？

A.申し込み要件の英語スコアをお持ちでしたら、お申し込みいただけます。その後は英語レベルチェックテストにて英語力を確認させていただき、フィードバックを行っています。

Q.活動にはどれくらいの英語力が必要ですか？

A.インターン生は日本語で授業を行うため、高い英語力は必要ありません。活動を通して英語力の向上を目指していただけます。

応募資格に関する質問

Q.教員経験がありませんが、業務をこなせますか？

A.メイン教師がメンターとしてみなさんの活動を支援させていただきますので、未経験でも安心して活動いただけます。

※社会人の場合、ビザの申請要件上、教授経験が必要です

Q.日本語教師の資格や教員の資格はあった方が有利ですか？

A.資格がなくても、未経験でも、ビザの要件を満たしてありましたら参加いただけます。資格よりも、参加者のモチベーションを重視しております！

Q.社会人でも参加できますか？

A.社会人でも参加可能です！J1ビザの申請要件を満たしてありましたら、20歳以上～35歳以下の方に参加頂けます。J1ビザの要件を満たしているかは事前に無料査定を実施致します。

費用に関する質問

Q.参加にはどのくらいの費用がかかりますか？

A.前ページ料金概算表をご参照ください。

Q.現地の生活費はどの程度がかかりますか？

A.滞在先、1日3食、市内公共交通機関のフリーパスは無償提供ですので、普段の出費はほとんどないというインターン生が多いです。日頃の出費はほとんどなく、旅行等で一度に大きな額を使われるケースが一般的です。

休日に関する質問

Q.休日はどのように過ごしますか？

A.ホストファミリーと出かけるインターン生が多いです。スキーや、ハイキングに出かける方や、お子様のクラブ活動に同行したり、他のインターン生と遊んだり、あるいは一人でのんびり過ごされたりする方もいらっしゃいます。

Q.長期休暇はどのように過ごしていますか？

A.決まりはありませんが、力試しに米国内の一人旅にチャレンジされるインターン生が多いです！派遣校によってはサマーキャンプを実施しており、お手伝いとして参加いただけます！

食事に関する質問

Q.ホームステイ先の食事はどのようなものですか？

家庭によって全く異なりますが、以下に一例をご紹介します。

朝食：冷蔵庫にあるものを各自食べる

昼食：前日の残りを詰めたり、サンドイッチを自分で作り学校で食べる

夕食：夜は家族でしっかりとした食事